



航空宇宙・防衛

カルナータカ州政府



1

インド: 航空宇宙・防衛のハブとして台頭

2

カルナータカ州: インドの航空宇宙・防衛改革のリーダー

3

エコシステムのインテグレーター

4

政策の推進

5

主要企業

6

将来的な事業機会

インド: 航空宇宙・防衛のハブとして台頭



防衛

- 世界**第3位**の軍事力
- 2017-18年の国防費は**428.3億ドル (428.3億ルピー)** に到達
- 2017年から2020年の国防設備投資は総額で推計**753.8億ドル (4.9兆ルピー)**

世界最大の武器輸入国

複合年間成長率
9.7% (2008-16年)

設備投資の**69%**は
航空機と航空エンジンの
調達費用



産業政策促進局によると、航空宇宙セクターは2000年4月から2017年6月までに、総額**2.549億ルピー (512万ドル)**のFDIを受領



航空宇宙

- インドの航空機市場は2019年までに**548億ドル (548億ルピー)**の規模に達する見込み
- 2016年の旅客運輸総額は**2.24億ルピー**
- 航空機業界は2020年までに**800機**を所有する見通し

複合年間成長率**8.5%**
(2014-19年)

最大級の民間
航空機市場

2020年までに
世界**第3位**の航空宇宙
市場になる見通し

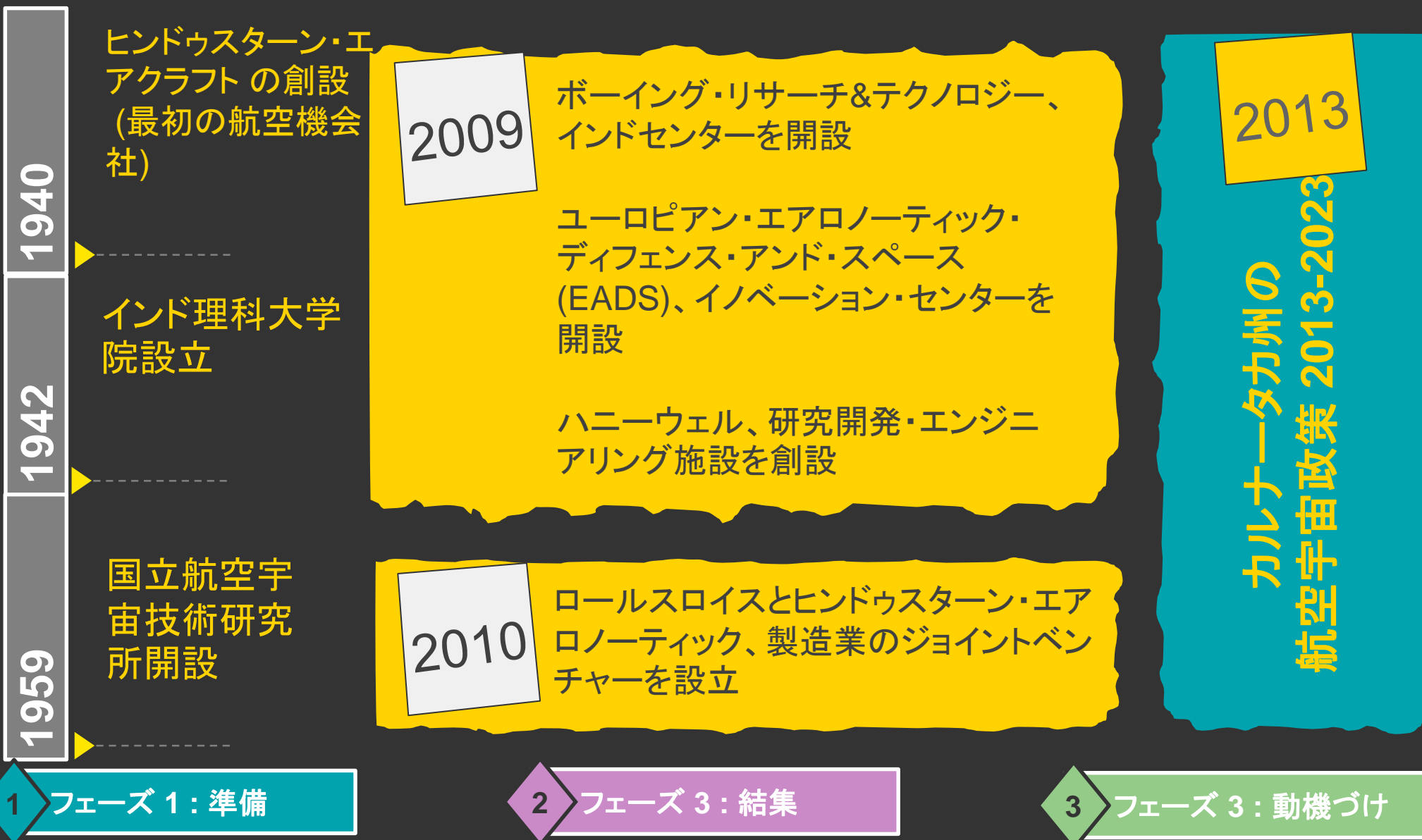
セクターの概観

カルナータカ州



カルナータカ州：航空宇宙・防衛分野の圧倒的リーダー

航空宇宙セクター発展の軌跡



カルナータカ州独自の優位性

部品製造、据え付け・検査機器、組み立てに特化した2,000社以上の中小企業

高成長が見込める
大きな市場

HAL、NAL、ADAなど、インドの主力航空機メーカーや研究機関

既存のバリューチェーン

- ▶ 最初の航空機製造部門
- ▶ 最初の宇宙研究センター
- ▶ 航空宇宙政策を発表した最初の州
- ▶ バンガロール国際空港は、PPPモデルを導入したインド最初の飛行場
- ▶ インド初の民間航空宇宙経済特区は、ベルガウムで稼働中

単一窓口での迅速な承認プロセス

組織的なサポート

BHEL、BEMLなどの国営企業が、重工業の主導的位置付け

製造
ノウハウ

IT分野で豊富な経験を有するバンガロールは、世界第4位のハイテククラスター

IT
ノウハウ

半導体設計企業群の最大のハブ

エコシステムの インテグレータ



カルナータカ州の高度な航空宇宙・防衛クラスターは世界トップクラス

- ベルガウムに航空宇宙産業の経済特区
- 航空宇宙研修協会とIAF研修センターを併設
- ベルガウムに製造業クラスター

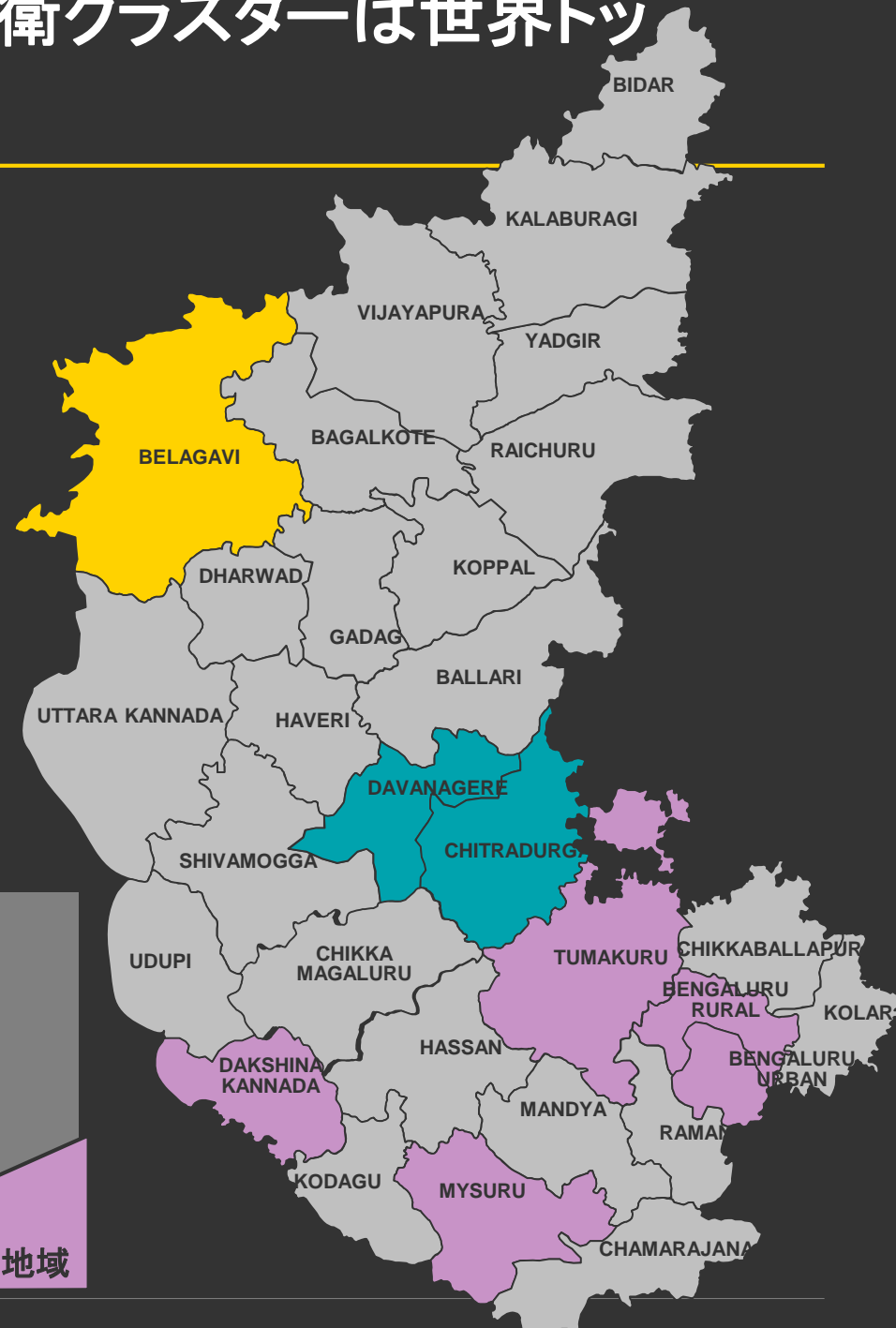
北部地域

- チトラドゥルガで提案されたIISCを併設した航空宇宙研究・イノベーションセンターの設立
- ダバンゲレの航空宇宙・航空大学
- ダバンゲレの飛行訓練学校の設立

中央地域

- デーヴァナハッリの高度な防衛・航空宇宙工業団地および経済特区
- KIAL & マイソールでの航空機整備(MRO)
- ダクシーナ・カナダ地区で製造業クラスター
- トウムクルのHALヘリコプター部門周辺の航空宇宙セクターにおける国防生産クラスター

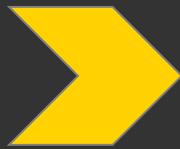
南部地域



学術、研究・イノベーションセンター



大学と
研修セン
ター



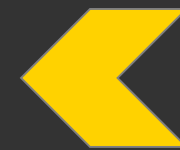
- ▶ インド理科大学院 (IISC) と科学工業研究委員会は、航空学の大学院生に研究と研修の機会を提供
- ▶ チトラドゥルガで提案されたIISCを併設した航空宇宙研究イノベーションセンターの設立
- ▶ ダバンゲレの航空宇宙・航空大学
- ▶ ダバンゲレの飛行訓練学校の設立
- ▶ 航空宇宙研修協会とIAF研修センターを併設



- ▶ バンガロールに本部を構え、政府が資金拠出したインド宇宙研究機関
- ▶ 国防省の防衛研究開発機構は、カルナータカ州バンガロールに国内最多となる10カ所の先進研究所を所有
- ▶ インド航空協会は、エンジニア、実業家、専門家が航空宇宙業界のために協力できるプラットフォームを構築



シンクタンクとイノベーションセンター



グローバルな連携

2009年3月



インドで最初の官民航空宇宙研究共同体であり、新たに発生したネットワーク技術とコンセプトに全力を注いでいる

2017年



カルナータカ州政府はダッソー・システムズと提携し、航空宇宙・防衛のセンター・オブ・エクセレンスを立ち上げ

2009年12月



ユーロピアン・エアロノーティック・ディフェンス・アンド・スペース、バンガロールで研究事業を開始

2015年

ボーイングとタタアドバンスド・システムズは、バンガロールでの航空宇宙・防衛の製造に関する協定に調印
(出所: 2015年7月15日付け、The Hindu)



2010年3月



ヒンドウスターン・エアロノーティックと共に、バンガロールで合弁の製造会社を設立

2009年5月



バンガロールに研究開発・エンジニアリング施設

政策の推進

カルナータカ州の航空
宇宙政策2013-23年



強固な政策環境

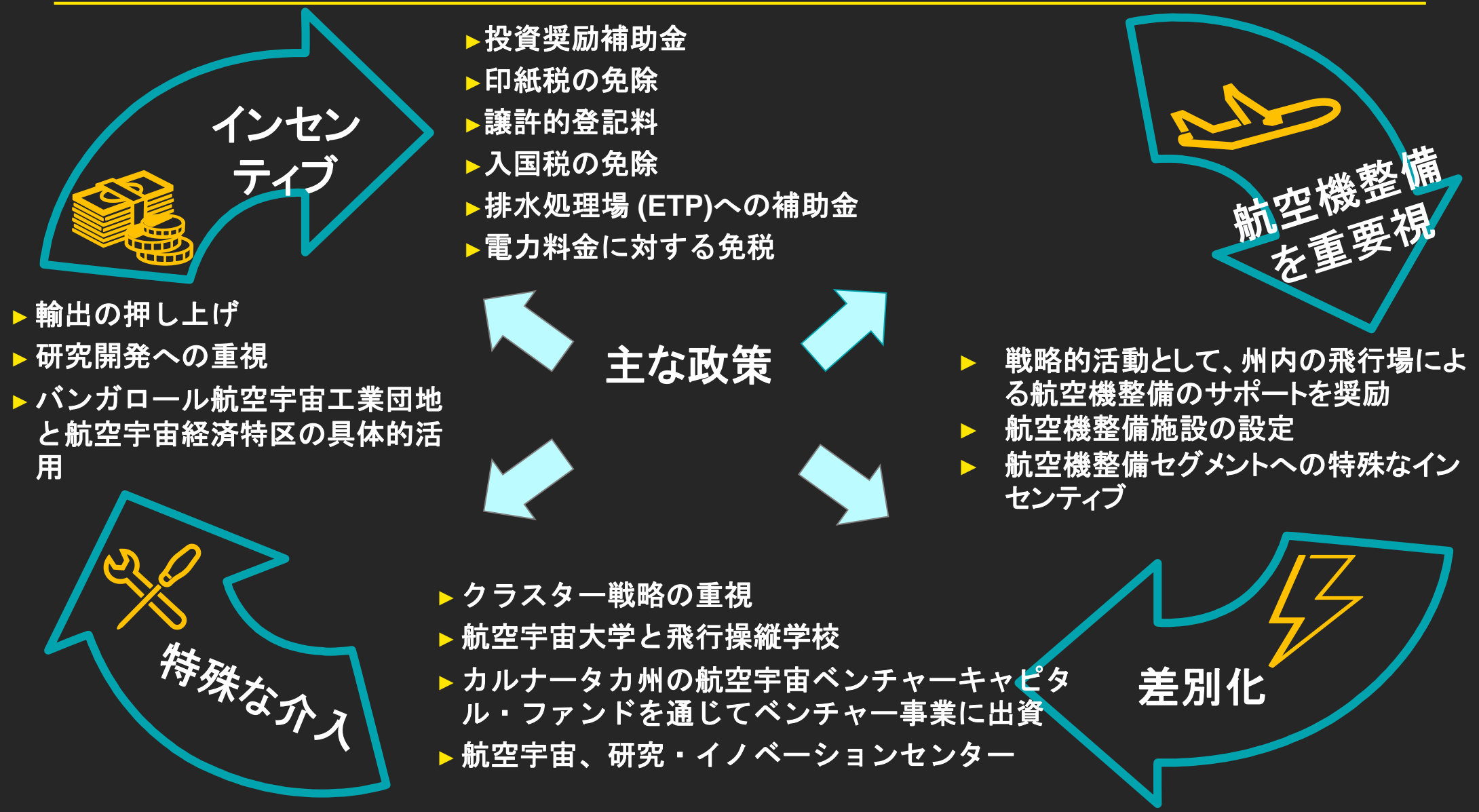
カルナータカ州のアジアでの活気ある航空宇宙ハブとしての位置付けと、世界的に認知された航空宇宙の目標



フェーズ II (2018-23年)

- ▶ 航空宇宙セクターにおいて、3,600億ルピー (60億ドル) の投資を呼び込むこと
- ▶ 包括的開発プロセスにより、向こう5年で約6万人の追加的な雇用機会 (直接的および間接的)を創出すること
- ▶ カルナータカ州のGDPに占める工業の比率を、航空宇宙セクターの寄与度拡大により、30%から32%に拡大すること

2013-14年以降、カルナータカ州は投資額1,182億ルピー、潜在雇用者数約35,000人に上る
119 のプロジェクト提案を承認



主要企業



カルナータカ州のグローバル企業



AIRBUS



Rolls-Royce®



AEQUS®
ecosystems of efficiency



Honeywell
THE POWER OF **CONNECTED**

THALES

Mahindra
AEROSPACE



将来的な 事業機会



バンガロールのヘリ タクシー・サービス



バンガロールは国際空港からエレクトロニクスシティの区間でヘリタクシー・サービスを導入する計画で、乗客の通勤時間を減らし都心の渋滞を緩和する

サミー・エイビエーションはヘリコプター1機でこのサービスを開始し、最終的には区間をホワイトフィールド、HAL空港、そして需要に基づき屋上にヘリポートがある高層ビルに拡大していく

インフラの構築と強化

1

2 国防製品の研究、設計、開発に関するキャパシティの拡大

3 民間航空宇宙および国内治安などの相乗効果的なセクターの奨励

4 先端技術への協力体制と投資の確立

5 技術要員を増やすための技能開発に注力

6 納期を短縮するための航空機整備施設の確立

終わり